

都神社庁元幹部横領疑い

宮司を告訴、教誨師会も検討

宗教法人「東京都神社庁」(東京都港区、小野貴嗣^{たかし}庁長)が、同庁の2580万円の資金を着服した

として、元財務担当幹部の男性(48)＝懲戒解雇＝を業務上横領容疑で、警視庁赤坂署に告訴したことが分かった。告訴は8月2日付。

元幹部は事務局長を務めた任意団体「東京都神職教誨師会」(中川文隆^{ふみなが}会長)の預金600万円を着服した疑いもあり、同会が告訴を検討している。

都神社庁は国内最大の神道系包括宗教法人「神社本庁」の地方組織で、都内約1400の神社を取りまとめる。元幹部は港区内の神社の宮司で、昨年3月まで府中刑務所(府中市)の受刑者に矯正教育を行う教誨師としても活動していた。

都神社庁の依頼で弁護士らがまとめた調査報告書によると、元幹部は2020年2月～22年12月にかけて延べ40回にわたり、同庁の資金を自身や都神職教誨師

会の口座に移して、総額2580万円を横領した疑いが持たれている。同月に不正が発覚した際、横領した金を競馬などに使ったと認めて謝罪し、既に全額を弁済している。

同庁は昨年1月に元幹部を解雇する一方、懲戒処分は見送ったが、その後に教誨師会の口座悪用と預金着服が判明したため、懲戒解雇処分を改めた。弁護士らによる調査チームの報告書を受け、今年6月の役員会

で告訴する方針を決めた。元幹部は現在も宮司にとどまるが、都内の神社関係者からは「神職資格を剥奪されず、堂々と続ける現状は社会正義に反する」と指摘する声も。都神社庁の小野庁長は本紙の取材に、今回の資金横領問題について「監督責任は重大で、猛省して再発防止策に取り組んで



元財務担当幹部を業務上横領容疑で告訴した東京都神社庁＝東京都港区で

いる」と説明する一方、元幹部の神職資格の取り扱いに關しては「刑事罰を受けた場合に神社本庁が判断すること」と述べるにとどめた。この問題を巡っては、内部告発した職員が小野庁長から叱責とパワハラを受けたとして退職している。小野庁長は「外部への情報漏えいを叱責したが、それが退職の直接原因ではない」と主張した。(阿部博行)

木村さん 中傷

大阪地裁 証拠画像

フジテレビの番組に出演したプロレスラー木村花さん(当時22)が交流サイト(SNS)で誹謗中傷を受けて2020年に自殺した問題を巡り、母響子さん(47)が投稿者として大阪府の女性らに約300万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で大阪地裁は30日、請求を棄却した。

山本拓裁判長は、証拠提出された投稿の画像について「捏造された可能性を否定できず(女性側の)アカ

暮らしのヒント

【テーマ】骨トレ⑫

●体・脳・心を元気に

骨を鍛えることを通じて体、脳、そして心を元気にさせるのが骨トレです。1日1分もあればできるカンタンなトレーニング法を多く紹介しました。外に出て太陽の光を浴びるのも骨トレですから、できることから、少しずつチャレンジしてみてください。

その際はぜひ「骨を強くしよう」「骨を鍛えるぞ」という意識をもってみてください。その意識が効果を高め、継続につながります。

(Dr.孝志郎のクリニック院長・藤澤孝志郎さん)

連載終了のお知らせ

「暮らしのヒント」は、今回で終了します。2022年3月にスタートし202回、本紙別冊「暮らすめいと」から厳選した情報を提供してきました。

今後は「まるっと元気プロジェクト」などで、イベントも含めた健康に役立つ情報をお届けします。